

唐津市臨港駐車場 事業提案概要書

1 施設の平等利用が確保されること。
<p>管理者及び職員等に周知徹底し特定の利用者への優遇・不遇がないよう努め、責任ある対応を心掛けるとともに、唐津市との連携を図り、利用者の意見を十分に採り入れながら、公共の駐車場にふさわしい管理運営を行う。</p> <p>高齢者や身障者の対応については、極力乗降しやすい場所への誘導を心がけ、利用者の快適な利用に供するため施設全体の保安全管理に万全を期した体制で運営する。</p>
2 施設の効用が最大限に発揮されること。
<p>お客様の利便性、安全性の確保を第一として駐車場の管理を行い、お客様の声を積極的に汲み上げ、それらを適切・迅速に管理運営に反映させるとともに、常に管理の質の向上に努め、本施設周辺には他の駐車場がないため、海洋レジャー施設や医療提供施設と連携し、施設利用の際、サービス件の発行を行うことで利用者の負担を減らし、利用率の向上を図る。</p> <p>また、観光地における駐車場であることから、様々な観光問い合わせにも対応できるように職員に研修を実施し、観光案内サービスや観光パンフを設置するなど利用者満足度の向上に努める。</p>
3 管理に係る経費の縮減が図られること。
<p>当漁協と本駐車場の事業内容及び労働体制を確認し、委託業務を極力削減するなど自主的な管理運営を第一とし効率的・合理的な運営を図り経費の縮減に努める。</p> <p>経営の効率化を促進するため、繁閑の動向にあわせた管理要員シフト制により人員の効率化を図り、人件費の削減に努める。</p>
4 管理を行う物的、人的能力を有していること。
<p>当漁協は平成24年4月に玄海地区8漁協が合併し発足した新漁協であるが、健全な事業運営を行っていることから運営管理、体制については十分な経験・能力があると考え。また適正かつ的確な経営を行うため経営の監督機能、執行機能を分離し、定期的な人事交代を行う。</p> <p>また、地元である利点を生かし夜間の事故への対応や迅速な措置により万一の事故・災害発生時の被害を最小限に抑えるよう努める。</p>